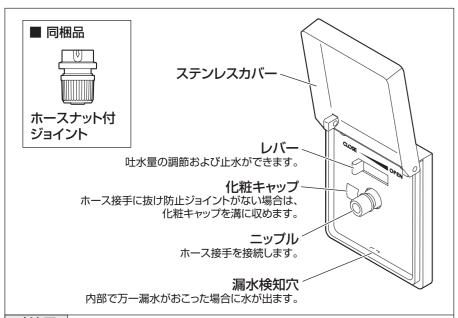
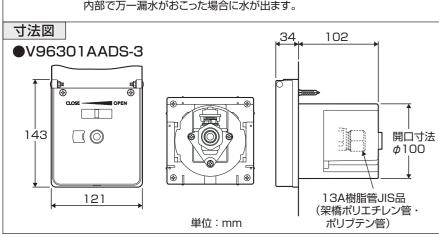
# 水道用コンセント シンプレット

······ V96301AADS-3

施工説明書 施工の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

# 本製品について 各部の名称・寸法図





# 他工に関する安全上のご注意

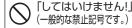
- ●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があ ります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ●施丁完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿って お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

## 用語および記号の説明

…「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる 事が想定されます。」

「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する 危険な状態が生じる事が想定されます。」

……「注意しなさい!」(上記の「警告」・「注意」と併用して注意をうながす記号です。 必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)







# ⚠ 警告



電気のコンセントの近くに取付けないでください。 水道用コンセントからの水により漏電し、感電するおそれがあります。

# ⚠ 注意



壁と製品の間は必ずコーキングしてください。 雨水などが壁の内側に浸入する財産損害発生のおそれがあります。

漏水検知穴にコーキング剤が付着しないようにしてく ださい。

万が一漏水がおこったときに水が壁の内側に浸入する財産損害発生のおそれ があります。



浴室内には設置しないでください。 故障や漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

## ⚠ 注意



修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでく

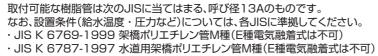
故障や水漏れの原因になります。



製品に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。

JIS品以外の樹脂管は取付けないでください。

漏水の原因となります。



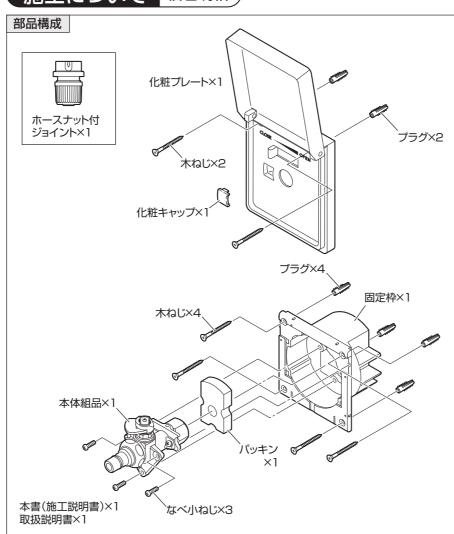
・JIS K 6778-1999 ポリブテン管 · JIS K 6792-1997 水道用ポリブテン管

凍結が予想される地域には使用しないでください。 凍結破損で漏水し、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

安全を確保するための逆止弁は定期的な交換が必要であ る事をお客様にお伝えください。

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水し た水が逆流するおそれがあります。また、水漏れなど予想しない事故の原因に なります。参照: 「定期的な部品交換 |

#### 梱包明細 施工について



# 施工について 適切な使用条件

## (水圧について)

用途

給水圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
小ログトルノブ	0.05MPa	0.75MPa

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。

〔水質・用途について〕

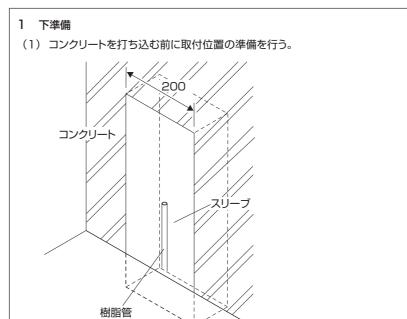
水道水及び飲用可能な井戸水 使用可能水質 一般住宅用(屋外用)

使用温度 常温(20℃±15℃) ●ただし、凍結のおそれがある地域では 使用できません。

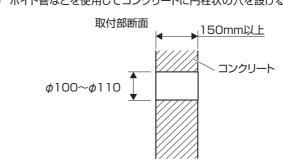
〔温度について〕

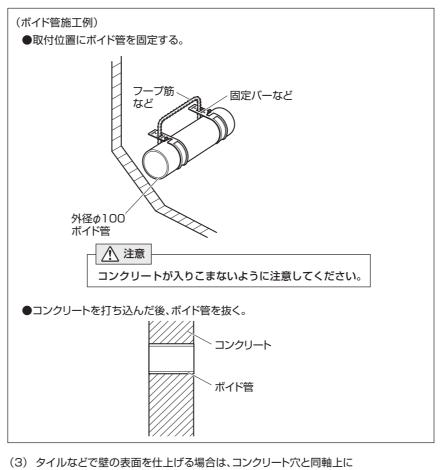
# 施工について施工手順

●水道工事と壁面取付工事は相互の工程を十分打合わせてから行ってください。 ●施工・作動点検のため、ホース接手を用意してください。

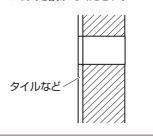


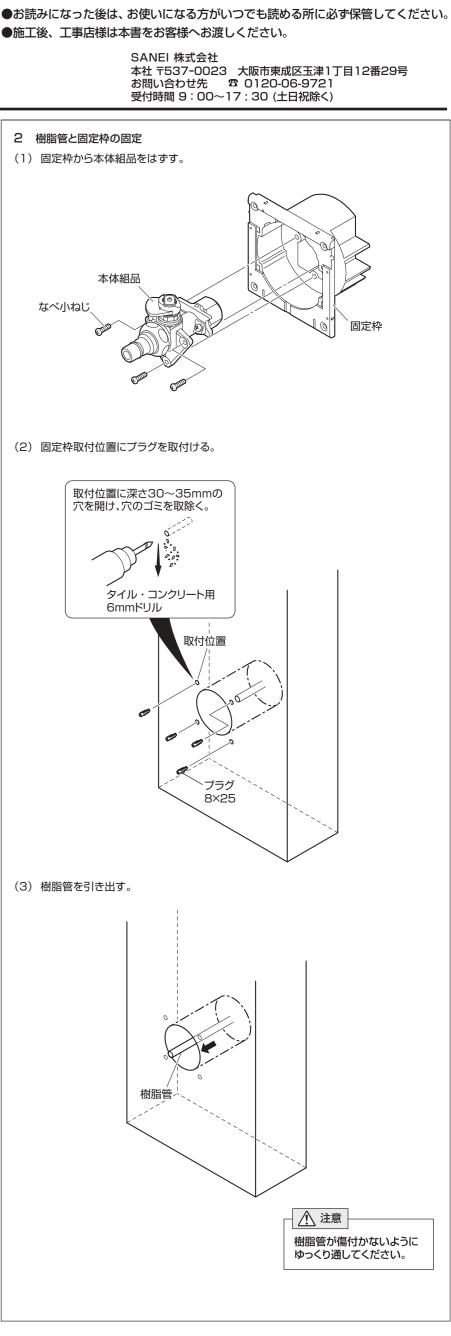
(2) ボイド管などを使用してコンクリートに円柱状の穴を設ける。

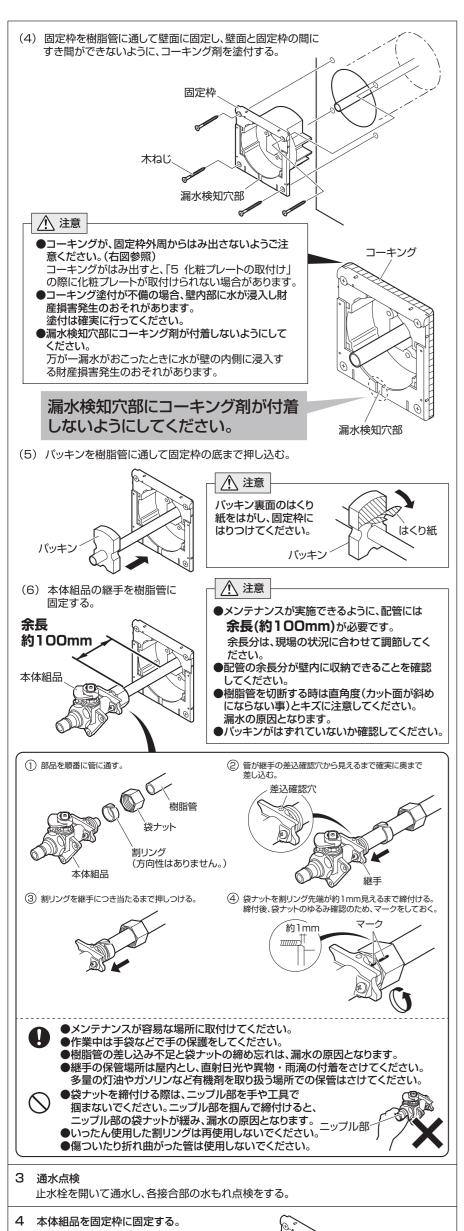


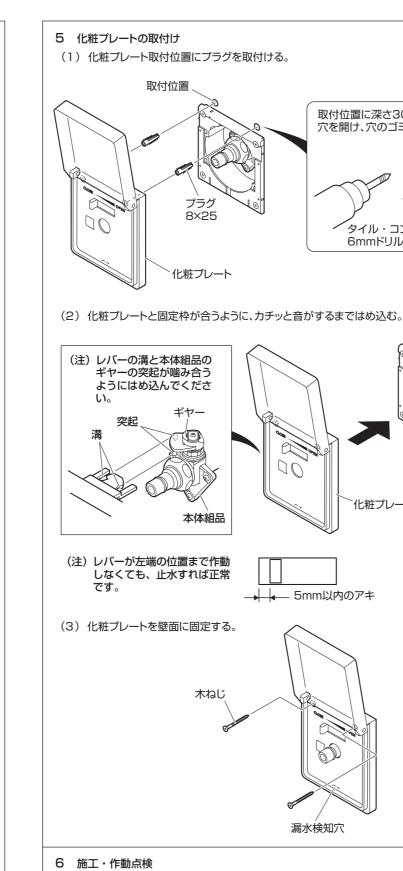


 $\phi$ 100~ $\phi$ 110の穴を設けてください。









取付完了後ホース接手を差し込み、止水栓を開け通水し、作動および各接合部の 水もれ点検をする。点検で不具合が発生した場合は次の表に従って処置する。

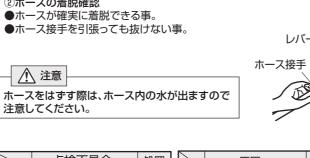
#### ①施工確認

●化粧プレートが確実にはまっている事。

#### ②ホースの着脱確認

●ホースが確実に着脱できる事。

注意 注意



化粧プレート

本体組品

木ねじ

	点検不具合	処置		原因	処置
①施工確認	化粧プレートが きれいにはまらない。	а	<b>a</b>	固定枠のまわりにタ イルなどを張ってい るため、化粧プレー トが浮いている。	固定枠と化粧プレート の間が厚くならないよ うにしてください。 「器具の取付け」参照
認			Ð	ホース接手が適合 しない。	「分解と点検」参照
② ホ	ホース接手がはまら ない。				
-スの着脱確認		0			

## こんなときは 分解と点検

取付位置に深さ30~35mmの 穴を開け、穴のゴミを取除く。

タイル・コンクリート用

6mmドリル

化粧プレート

→ 5mm以内のアキ

漏水検知穴

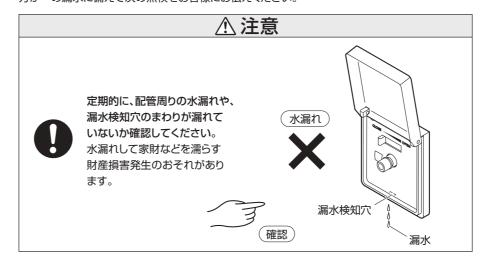
取付後の故障や、保守点検の時は下の表に従って点検してください。

	原因	処置		処 置	
水が出ない	レバーが開栓していない。	A		レバーが開閉しているか確かめる。	
	セラミック上部のゴミかみ。	3	A	止水 レバー	
	通水していない。 (元栓が閉まっている。)				
止水まが	レバーが閉栓していない。	A		⊞X	
止まらない い	セラミック上部のゴミかみ。	<b>B</b>		セラミック上部を開閉しながら、 シート部を掃除する。 直らない場合は部品を交換する。	
流量が少ない	レバーが開栓していない。	<b>a B</b>		セラミック上部	
	セラミック上部のゴミづまり。	<b>B</b>			
	逆止弁コアのゴミづまり。	Θ		参照: 取扱説明書 こんなときは 「セラミック上部の取りはずし・取付け方法」 逆止弁コアのシート部を掃除する。	
水が漏れるこのプル部から	ホース接手のパッキン部の 損傷、ゴミかみ。	0	Θ	逆止弁コア	
はまらない	ホース接手が適合しない。 (SANEIのホース接手を別途 お求めください。)		•	ホース接手のパッキン部のゴミかみが あれば取除き、傷があれば部品を交換 する。 パッキン ホース接手	

以上の点検を実施されても、不具合がなくならない場合は施工上の不具合が考えられます。 施工手順「6施工・作動点検」を参照してください。

#### 日頃のお手入れ ■ 定期的な点検

漏水を壁表側に出すための漏水検知穴を設けています。 万が一の漏水に備えて次の点検をお客様にお伝えください。



# 日頃のお手入れ 定期的な部品交換

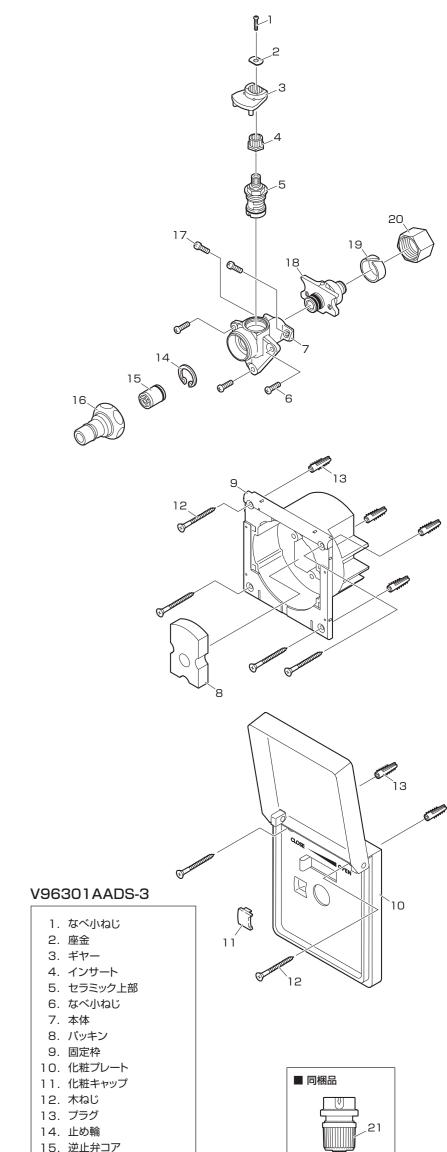
安全・快適にお使いいただくために、定期的な部品交換をお客様にお伝えください。



※交換時期は、使用環境などにより異なります。 ※逆止弁や部品交換を依頼される方は取扱説明書の「アフターサービス」を参照して

## こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。 ※部品として注文いただける単位のものではありません。



16. ニップル

18. 継手 19. 割リング

20. 袋ナット

17. 座金組込十字穴付小ねじ

21. ホースナット付ジョイント

## ·····V96301AADS-3

# 取扱説明書

ご使用の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

― お客様へ ──

お読みになった後は、お使い になる方がいつでも読める所 に必ず保管してください。

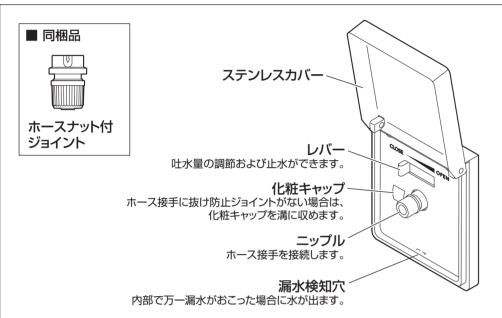
── 工事店様へ − 施工後、この説明書をお客様 へお渡しください。 また、定期的に交換が必要な 部品があることをお客様にお 伝えください。

# 本製品について各部の名称

●壁面に埋め込むことで、突出感がなくスッキリ。水栓本体の機能はそのままです。

●ワンタッチ接続で簡単着脱。

●バルブ部にセラミック上部を使用しているので耐久性にすぐれています。



# で使用についてで使用に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。 いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に 使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

### 用語および記号の説明

「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が 想定されます。」

注意

「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な 状態が生じる事が想定されます。」 「注意しなさい!」(上記の「警告」・「注意」と併用して注意をうながす記号です。

必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)

…「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)

…「分解してはいけません!」

・「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

## ⚠ 警告



小さいお子様だけのご使用は、避けてください。 けがをするおそれがあります。



## **企注意**



ステンレスカバーを使用する場合は十分注意してください。 けがをするおそれがあります



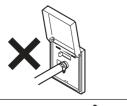
製品に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や漏水の原因になります。





ニップルに直接ホースを接続して使用しないでくださ

ホース接続部より漏水し、家財などを濡らす財産損害 発生のおそれがあります。



製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。 水などが浸入して家財などを濡らす財産損害発生のお それがあります。



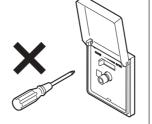
## ⚠ 注意



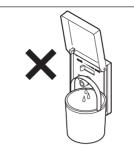
分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないで ください。

器具が破損し、けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす 財産損害発生のおそれがあります。

に吐水口部から微少の水がにじみ出るおそれがあります。

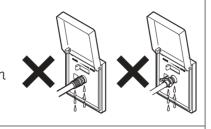


吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回した りしないでください。 摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時



ホース接続部より水漏れがないかご確認ください。 水漏れが発生した場合には、再度取付けをやり直して

水が吹出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれ があります。

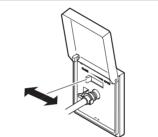


レバーは、ゆっくり操作してください。 レバーを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れ で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

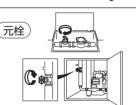


レバーは定期的に動かしてください。その際必ず 給水ホースを接続してください。 レバーを長時間動かさずに使用すると水あかなどが 付着し、レバーが固着して無理に動かそうとすると破

損の原因になります。



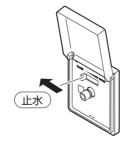
長期間使用しない時は、配管中の元栓を閉めてください。 水漏れなどの事故の原因になります。



定期的に、配管周りの水漏れや、漏水検知 穴のまわりが漏れていないか確認してくだ 水漏れすると家財などを濡らす財産損害発 生のおそれがあります。



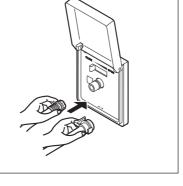
使用しない時は、レバーを閉めてください。 給水ホースがはずれて漏水し、家財などを濡らす財産 損害発生のおそれがあります。

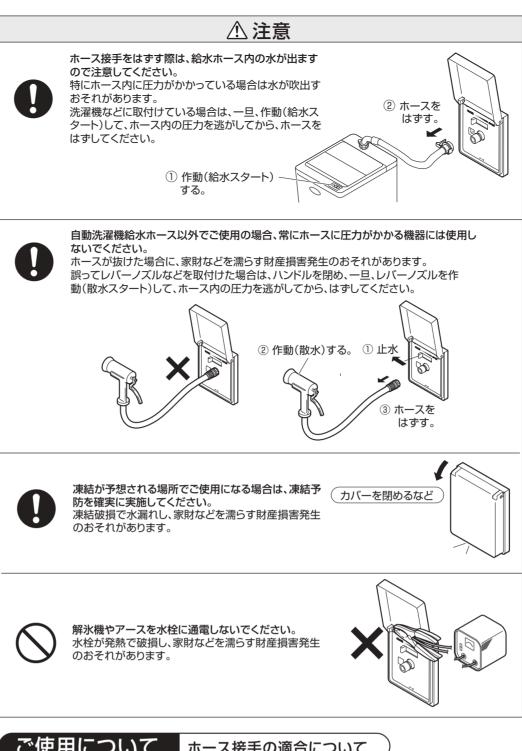


給水ホースをはずす際は、レバーを止水位置に合わせ てからはずしてください。 水が吹出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれ



ホース接手を本体のニップルに確実に差し込んでくだ 確実に差し込まないと水漏れして家財などを濡らす財 産損害発生のおそれがあります。

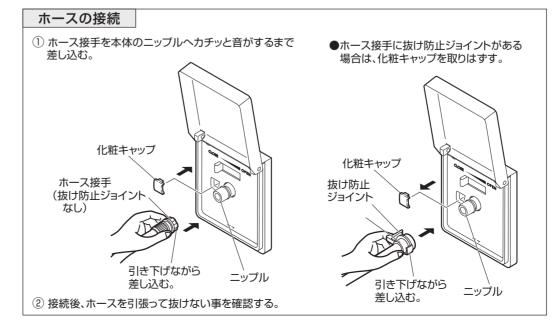


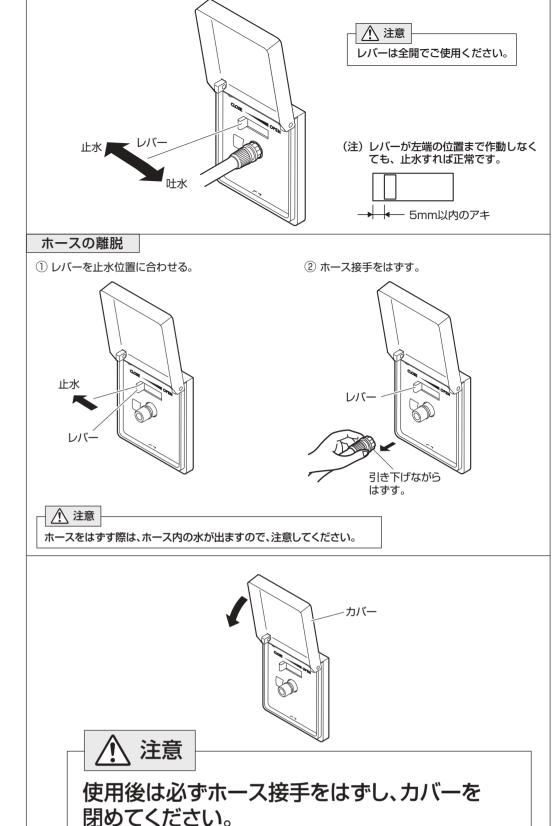


# で使用についてホース接手の適合について



# で使用について使用方法



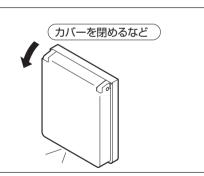




凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

●配管部などに保温材を巻いてください。 ●凍結の予想される日には、カバーを閉めてください。 ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

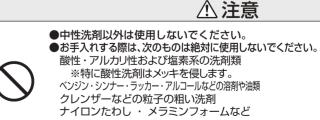
レバーをスライドして、吐水、止水します。



# お手入れ 日頃のお手入れ

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。 快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

●柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。 ●汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった 布で汚れを拭き取ってください。



製品の割れや変色変質の原因となります。

洗剤・薬品が本体に付着した場合は、 すぐにきれいに拭き取ってください。

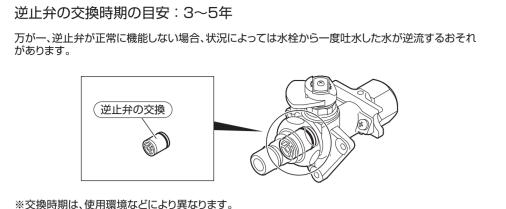
本体の割れや変色変質の原因となり



裏面へつづく

# お手入れ 定期的な部品交換

安全・快適にお使いいただくために、定期的な部品交換をおすすめします。

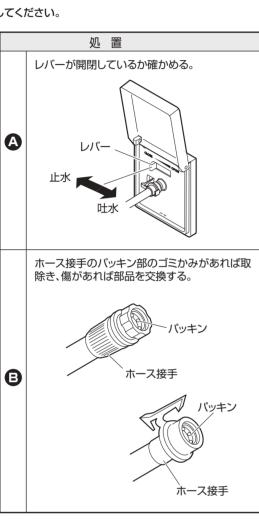


※逆止弁や部品交換を依頼される方は取扱説明書の「アフターサービス」を参照してください。

#### 分解と点検 こんなときは

取付後の故障や、保守点検の時は次の表に従って点検してください。





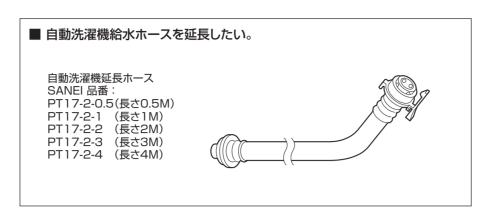
以上の点検を実施されても、不具合がなくならない場合はお手数ですが販売店(工事店)にご依頼ください。

## (漏水した場合の処置) 漏水した場合は、配管中の元栓を閉めてください。 元栓の閉め方 元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。 ※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。 ※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。 ※一部の地域では左まわしの場合があります。 ※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。 ■ 戸建て住宅などの元栓ボックス: 主に玄関やガレージ付近の地面にあります。 古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。 ●キー式 ●ハンドル式 止水栓キー SANEI品番: PR30A(止水栓キー) ■ マンションなどの (量水器) 中高層住宅の元栓ボックス: 主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと 元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検 針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。 水道メーター(量水器)

## こんなときはオプション品について

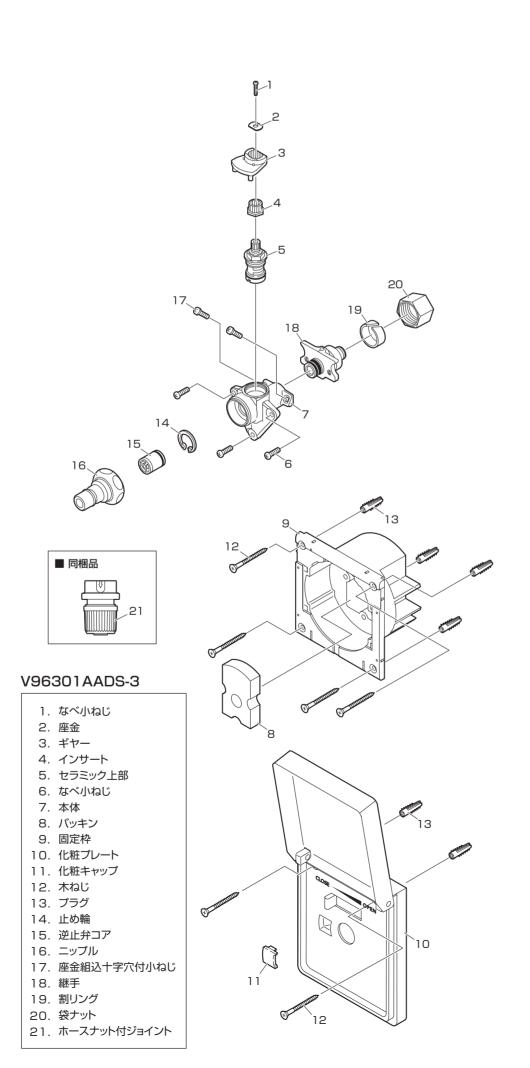
当社では、水まわりを快適にサポートできるようにオプション品や補修パーツをホームセンターなどで とりそろえております。

(品質改良、原材料事情などにより、品番、仕様などの変更、および製造中止を予告なくさせていただく場 合があります。あらかじめご了承ください。)



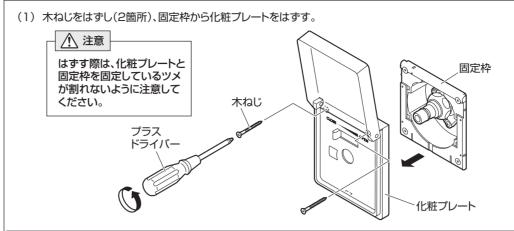
# こんなときは 本製品の構造

器具の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。 ※部品として注文いただける単位のものではありません。

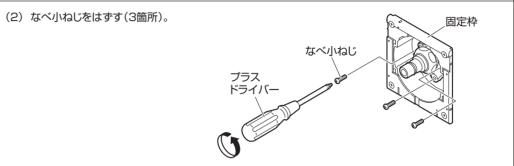


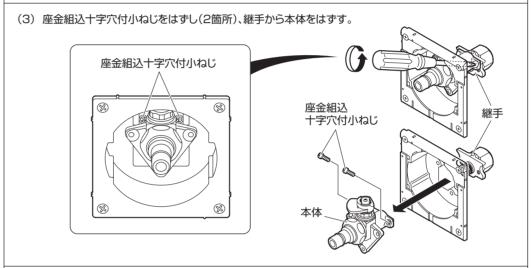
## こんなときは セラミック上部の取りはずし・取付け方法

セラミック上部の掃除や交換の際は、下記手順に従って作業してください。

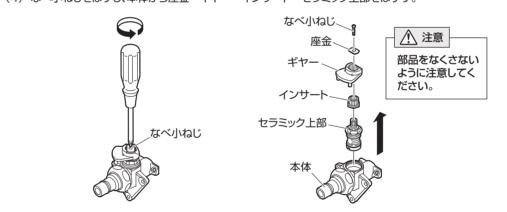


取りはずし方法



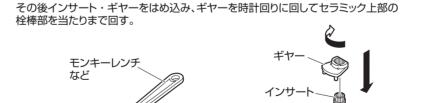


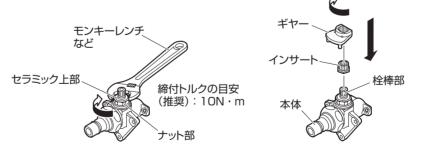
(4) なべ小ねじをはずし、本体から座金・ギヤー・インサート・セラミック上部をはずす。



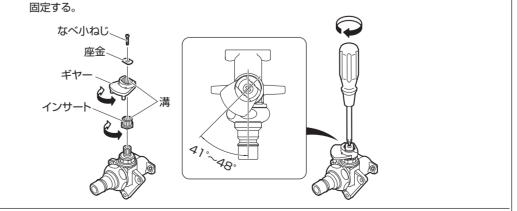
## 取付け方法

(5) 本体にセラミック上部を入れ、モンキーレンチなどでセラミック上部のナット部を回し、





(6) ギヤーとインサートの溝の位置を調節し、ギヤーが41°~48°の方向を向く位置で



- (7) 手順(3)を逆の手順で行い、本体を継手に固定する。
- (8) 手順(2)を逆の手順で行い、本体を固定枠に固定する。
- (9) 化粧プレートを取付ける。 参照:施工説明書「施工手順」手順5(2)(3) (10) 施工・作動点検をする。 参照:施工説明書「施工手順」手順6

## 〔補修用部品の供給期間〕

この製品の補修用部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が 高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

#### 〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- ●修理依頼と部品交換依頼先:お求めの販売店(工事店)又は当社
- ●連絡していただきたい内容:■住所、氏名、電話番号
  - ■品番、品名 ■お買上げ(据付け引渡し)年月日
  - ■故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、
  - 部品交換の依頼 ■訪問希望日

●当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

・診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の

点検などの作業にかかる費用 ・修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した

古い部品・製品は当社の所有になります。)

・製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

#### 〔部品の交換〕

- ●止水部やパッキンが摩耗・劣化すると水漏れの原因となります。
- この場合、該当部品の交換が必要です。
- ●安全・快適にお使いいただくために、定期的な逆止弁の点検・交換をお願いします。

#### 〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

●まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。 ご不明な場合は当社までお問合せください。

### 水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。 保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書を

お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。

必ずご確認いただき、記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、 レシート又は領収書を貼付してください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。



### <無料修理規定>

ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

- 1. 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、
- 2. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談くだ
- 3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
- (1)使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
- (2)温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
- (3)お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷 (4)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
- (5)電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合 (6)消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
- (7)施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
- (8)建築躯体の変形 (強度不足・ゆがみ) など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、 色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
- (9)海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- (10)ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
- (11)砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
- (12)寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び
- (13)本書の提示がない場合
- (14)本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書 き換えられた場合
- 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
- ★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

- 従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の 修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問い合わせください。
- ★ 補修用部品の保有期間についてご不明の場合は下記へお問い合わせください。

SANEI株式会社

本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号 お問い合わせ先 🕿 0120-06-9721 受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)

ホームページ www.sanei.ltd